

8月7日(金)迄に

FAX:03-3542-3495 または 電子メール:ynakazaw@ncc.go.jp までご返信ください。

厚生労働省委託事業
がん診療連携拠点病院 PDCA サイクル体制強化事業への
ご協力をお願い

国立がん研究センターがん対策情報センターでは、厚生労働省委託事業により、都道府県単位のPDCA サイクルの確保に向けて、都道府県がん診療連携拠点病院の取り組みの実態把握と、好事例の収集のための訪問調査を予定しております。

つきましては、都道府県内のPDCA 関連会議等の実際の取り組みに関する訪問調査や、当センター担当者の関連会議へのオブザーバーとしての傍聴にご協力をお願い申し上げます。

ご協力にご同意いただける場合は、下記フォームにご記入の上、平成 27 年 8 月 7 日 (金) 迄に FAX (03-3542-3495) または電子メール (ynakazaw@ncc.go.jp) までご返信くださいますようお願い申し上げます。

国立がん研究センターがん対策情報センター
がん医療支援研究部 加藤雅志

ご回答フォーム

ご協力いただける場合は、□に✓をご記入ください。

- 都道府県内のがん診療連携拠点病院のPDCA 関連会議等の取り組みに関する訪問調査に協力します。
- 都道府県内のがん診療連携拠点病院のPDCA 関連会議の傍聴を許可します。

都道府県名		
ご所属施設名		
ご所属部署名		
お名前		
電話番号		
メールアドレス		
当方から連絡を差し上げる際、優先する連絡方法に○を付けてください。	1. 電話	2. 電子メール

【本件に関するお問い合わせ先】

国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部 担当 中澤葉宇子

電話:03-3547-5201(内線 1707), FAX:03-3542-3495, E-mail:ynakazaw@ncc.go.jp

8月7日(金)迄に

FAX:03-3542-3495 または 電子メール:ynakazaw@ncc.go.jp までご返信ください。

厚生労働省委託事業
がん診療連携拠点病院の緩和ケア提供体制に関する
ピアレビューの実施支援事業ご協力をお願い

国立がん研究センターがん対策情報センターでは、厚生労働省委託事業により、がん診療連携拠点病院の緩和ケア領域のPDCAサイクルを確保するため、都道府県の拠点病院連携協議会等が実施する施設訪問によるピアレビューの支援に取り組んでいます。これまでに研究班で開発した実施ガイド等を用いて、都道府県の拠点病院協議会等の事務局と連携し、ピアレビューが円滑、効果的に実施できるよう支援を行います。

今年度は、いくつかの都道府県を対象としてモデル的に実施することを予定しています。つきましては、モデル都道府県として本事業へのご協力をお願い申し上げます。ご協力にご同意いただける場合は、下記フォームにご記入の上、平成27年8月7日(金)迄にFAX(03-3542-3495)または電子メール(ynakazaw@ncc.go.jp)までご返信くださいますようお願い申し上げます。

国立がん研究センターがん対策情報センター
がん医療支援研究部 加藤雅志

ご回答フォーム

ご協力いただける場合は、□に✓をご記入ください。

がん診療連携拠点病院の緩和ケア領域のPDCAサイクルを確保するためのピアレビューに協力します。

都道府県名

ご所属施設名

ご所属部署名

お名前

電話番号

メールアドレス

当方から連絡を差し上げる際、優先する連絡方法に○を付けてください。

1. 電話

2. 電子メール

【本件に関するお問い合わせ先】

国立がん研究センター がん対策情報センター がん医療支援研究部 担当 中澤葉宇子

電話:03-3547-5201(内線1707), FAX:03-3542-3495, E-mail:ynakazaw@ncc.go.jp

がん診療連携拠点病院等の整備指針（H26.1.10） PDCAサイクルの確保

①国レベル

- 国立がんセンターが中心となり、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会を設置、以下を協議
 - ・都道府県拠点病院のPDCA確保に関する取り組み状況の把握
 - ・都道府県拠点病院を介した全国の拠点病院等の診療機能や診療実績等の情報収集

②都道府県レベル

- 都道府県拠点病院が中心となり、都道府県協議会を設置、以下を協議
 - ・各都道府県における地域拠点病院等のPDCAサイクル確保体制とその実績
 - ・各都道府県における地域拠点病院等の診療機能や診療体制、診療実績、地域連携に関する実績や活動状況
 - ・都道府県を越えた希少がんに対する診療体制等、臨床試験の実施状況

③拠点病院レベル

- 自施設の診療機能や診療体制、診療実績、地域連携に関する実績や活動状況、患者QOLについての把握、評価、共有、広報を行うことが求められる。⁸

拠点病院の緩和ケア提供体制に関するピアレビュー

目的：PDCAサイクルを確保するための一つの方法として緩和ケア領域をモデルとして、がん診療連携拠点病院の緩和ケアの質を向上するためのピアレビューの実施方法を開発する。

Step1: 研究班が外部専門家メンバーとして施設訪問してピアレビュー（H24）
＜目的＞ 訪問者の評価の視点を明確化

Step2: 緩和ケアチームメンバーによる相互施設訪問でピアレビュー
研究班は、事務局として関係者間の調整と実施方法の提示（H25）
＜目的＞ 訪問者の評価の視点を明確化

Step3: 県の拠点病院連携協議会 緩和ケア部会メンバーが施設訪問してピアレビュー
研究班は、県の事務局支援として実施ガイド・マニュアルの提示（H26）
＜目的＞ 事務局支援のための国立がん研究センターに必要な機能の明確化

Step4: ピアレビュー実施ガイド・マニュアルの汎用性について検討予定（H27）

拠点病院の緩和ケア提供体制に関するピアレビュー

利点

- 外部専門家の評価により、対象施設の緩和ケア担当者が漠然と感じている問題が可視化できる
- 病院幹部の参加を求めることで、問題点を施設全体で共有でき、改善に繋がる
- 訪問施設者も、他施設の状況を確認でき、自施設の取り組みを振り返る機会となる

課題

- ピアレビューの質を担保するため、決められた専門家メンバーでレビューアーを構成して実施する、または、レビューアーを養成するシステム等の構築が必要
- 事務局は、対象施設の担当者との事前調整作業や関係者への周知、当日の運営管理、実施後の報告書のまとめ作業、ピアレビュー実施後のモニタリング等、作業量が多く、都道府県単位で事務局専任スタッフを配置するなどの基盤整備が必要

本件に関するお問い合わせは、加藤雅志: maskato@ncc.go.jp迄お願いします。